

機械器具(03)医療用消毒器

管理医療機器 一般の名称:軟性内視鏡用洗浄消毒器 JMDNコード35628000

特定保守管理医療機器 **内視鏡急速洗浄器 ESPAL-b-I**

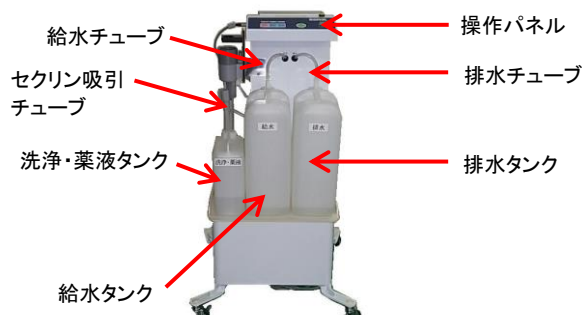
【禁忌・禁止】

1. 洗浄水は、飲用に適する上水道以外は使用しないで下さい。
2. 洗浄液は、指定された洗剤及び薬液以外は使用しないで下さい。
3. 軟性内視鏡以外は洗浄しないでください。
4. 機器は絶対に勝手に改造しないで下さい。

【形状・構造及び原理等】

*1 外 観

各部の名称(シリーズ:ESPAL-b-1)



*2 電氣的定格

電源電圧:AC100V 周波数:50/60Hz
消費電力:最大150VA 保護による分類:保護接地接続

3 原 理

装置上に設置する洗浄・薬液、給水用、排水用の各タンク、洗浄液及び水を吸引するためのペローズポンプ、洗浄液の循環・排水を行う送水ポンプ、内視鏡をセットし洗浄を行う洗浄槽から構成されている。装置の動作はCPUにより制御されており、操作パネルにある各スイッチ・ボタンで操作する。

【使用目的、効果・効能】

*内視鏡及び内視鏡と併用する器具機材を洗浄及び消毒すること。

【品目仕様等】

*

自動洗浄時間	約4分半
予備洗浄 (水洗浄)	外表面:流液洗浄 チャンネル内:送液及び充滿
洗浄時間	20秒間 循環
洗浄・消毒 (洗剤洗浄)	外表面:洗浄・消毒液浸漬 チャンネル内:送液及び充滿
洗浄・消毒時間	120秒間 循環
すすぎ洗い (水すすぎ)	流水循環 20秒間2回 1, 2回の間に排水有り

洗浄槽の容量:280ml 水温:10~30℃

使用消毒液:二酸化塩素水溶液 PH6 30ppm 使用洗剤:当社指定洗剤

【操作方法又は使用方法】

使用前 <1 装置準備>

1 洗浄・薬液タンクの用意

- ①洗浄・薬液タンク(3L)に、150mlの薬液を加えます。
- ②洗浄・薬液タンク(3L)の目盛3,000mlまで水を加えます。
- ③吸引パイプ付キャップをつけてから、所定の位置に置き、吸引チューブをつなぎます。

2 給水タンクの用意

- ①給水タンク(10L)目盛上限まで水を入れます。
- ②吸引パイプ付キャップをかぶせてから、所定の位置に置きます。
- ③給水チューブをつなぎます。

3 排水タンクの用意

- ①排水タンクにキャップをかぶせ、所定の位置に置きます。
- ②排水チューブをつなぎます。

使用直前の操作 <2 洗浄準備>

1 メインブレーカスイッチと操作パネルの電源スイッチを「ON」にします。(緑ボタン)

2 チューブ内への充填とエア抜き

- ①洗浄液セットボタンを押します。(ピンクボタン)
希釈液が一定量チューブ内に吸引されます。
- ②給水ボタンを押し続けます。(青ボタン) ※上部センサーで停止します。
溜まっていたエアを、洗浄槽内に押し出します。
- ③排水ボタンを押し続けます。(青ボタン) ※下部センサーで停止します。
洗浄槽内の水が、排出されます。

操作方法 <3 洗 浄>

1 スコープをハイクリンで洗浄

- ①ハイクリンを水1リットルに、計量スプーン1杯の割合(200倍)で溶かし、一次洗浄容器(バケツのような広口容器)に入れて、用意します。
- ②患者さんから取り出したスコープを、一次洗浄容器のハイクリンを含ませた清潔なガーゼなどで、優しく拭きます。

2 ESPAL-b-1へのセット

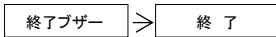
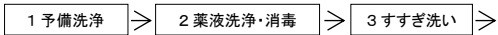
- ①スコープの光源装置ソケットを、操作パネル裏のバスケットに入れます。(光源に繋がったままでもOKです。)
- ②有効軟性部先端から洗浄槽に差込み、操作部をスコープハンガーに掛けます。
- ③鉗子栓を取り外し、代わりに洗浄アダプターを取り付けます。(チャンネルの有る場合)
- ④吸引ボタンを外した孔に、ドレーンチューブ付栓をします。(チャンネルの有る場合)



取扱説明書を必ずご参照下さい。

＜4 自動洗浄開始＞

- 1 スタートボタンを押すと洗浄が始まります。(緑ボタン)
- 2 洗浄工程(4分半)



- 3 終了ブザー及び、終了ランプの点灯で工程の終了を知らせます。

＜5 洗浄終了後＞

- 1 洗浄アダプター、ドレーンチューブを外します。
- 2 清潔なガーゼなどで、スコープに付着する水を優しく拭きながら、スコープを取り出します。
- 3 給水チューブの除菌
- ①給水パイプを洗浄・薬液タンクに差込み、給水チューブを接続します。
- ②給水ボタンを2秒ほど押して消毒液を吸引し、5分以上放置します。
- ③給水パイプを外します。

使用後の処置 ＜6 装置終了＞

- 1 当日最後の洗浄終了時に行います。
- (1) 洗浄終了後の給水チューブ内の除菌操作を行ってください。
- (2) 洗浄液回路の水洗いを行ってください。
- ①洗浄液タンクの洗浄希釈液を捨て、水を入れてセットする。
- ②洗浄液セットボタンを押します。
- ※3～4回繰り返してください
- ③排水ボタンを押し排水します。
- 2 電源スイッチを切ります。
- 3 タンク内の乾燥。
- 排水タンクを空にして水洗いした後、全てのタンクを逆さに置いておきます。

＜7 清掃及び保守点検＞

- 1 定期点検清掃
- ゴミ取りストレーナーの清掃
- ①電源スイッチを「OFF」にしてください。
- ②本体平台後ろにあるグレーの塩ビ製ネジをゆるめて、ストレーナーを引きだします。
- ③流しの流水の下で、金網を洗浄して下さい。
- ④洗浄が終わりましたら元に戻して、しっかりと締めて下さい
- 2 装置及び付属品は、次回の仕様に支障のないよう、必ず清浄して下さい。
- 3 機器及び部品は必ず定期点検を行って下さい。

＜使用方法に関する使用上の注意＞

- ・内視鏡スコープをセットする時は、軟性部を円筒形の洗浄槽ふちに擦らないように注意して下さい。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- 1 薬液の濃度を、濃度判定試薬(バックテスト)でチェックして下さい。
- 2 給水タンク・洗浄・薬液タンクの水量を確認して下さい。

- 3 洗浄終了後、洗浄工程表示ランプが点滅した時は、電源を切りサービスセンターにご連絡下さい。
- 4 1日の洗浄終了後は、各タンクの液を空にして、乾燥させて下さい。

【貯蔵方法及び使用期間等】

◎設置環境(温度、湿度)

設置場所:室内(傾斜、振動衝撃などの安定状態に注意して下さい。)

温度:5～40℃ 湿度:30～80%RH(結露無き事)

【耐用期間】

- 1 本装置の耐用期間は、製造出荷後(納品後)5年とする(自社基準による)。
- 2 条件:使用上の注意を守り、正規の保守・点検を行った場合に限る。
- 3 以下の部品は消耗品(修理不可能)である。本添付文書「保守点検に係る事項」に示す使用前点検および定期点検を実施し、必要であれば新品と交換すること。
- ・各種チューブ、Oリング ・バルブ ・電磁弁 ・フィルター
- ・各種ポンプ等 ・逆止弁、フロート、継手、キャップ等

【保守点検に係る事項】

取扱い説明書をご参照のうえ保守点検を定期的に行ってください。

1) 使用者による保守点検事項

項 目	点検頻度	点 検 内 容(概要)
電源コンセントの点検	使用前	電源コードのコンセントの差込状態を確認して下さい
洗浄槽内の点検	使用時	洗浄槽内の水が自然に減少しないか確認して下さい
清掃	月1回	ゴミ取りストレーナーの清掃をしてください
各タンクの点検	月1回	薬液・給水・排水タンクの破損や水漏れの有無を点検・確認して下さい

詳細な内容については、取扱説明書の該当部分を参照して下さい。

2) 業者による保守点検事項

項 目	点検時期	点 検 内 容
配管用チューブの交換	年1回	循環・排水ピンチバルブ配管用シリコンチューブ交換
ジョイントゴムの交換	年1回	薬液吸引パイプを接続しているパイプ受け・ジョイントゴムの交換
ゴミ取りストレーナー点検	年1回	ゴミ取りストレーナーに異物がつまっていないか確認して下さい
電磁弁の点検	年1回	給水・排水・洗浄槽循環其々を制御する電磁弁の点検
ポペットバルブ交換	年1回	給水・薬液・送液用ペローズポンプのポペットバルブ交換

詳細な内容については、取扱説明書の該当部分を参照して下さい。

【包装】

1台

【製造販売業及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者の氏名又は名称:株式会社ヤマト製作所

住 所: 東京都大田区北馬込2-40-12

電話番号: 03-3777-3356

緊急連絡先: 03-3777-3356

製造業者の氏名又は名称: 株式会社ヤマト製作所

販売元(問い合わせ先): 株式会社精研

住 所: 愛知県名古屋市中区川名町2-30-5

電話番号: 0120-288-820(お客様コールセンター)

取扱説明書を必ずご参照下さい。